



令和3年7月8日

狛江市長 様

団体名 狛江市ラグビーフットボール協会

団体所在地

代表者名 富永 幸伸

連絡責任者名 山口 忍

連絡責任者電話番号・FAX番号

連絡責任者Eメールアドレス

狛江市行政提案型市民協働事業提案書

狛江市行政提案型市民協働事業実施要綱第7条の規定により、下記のとおり提案します。

記

事業名 ラグビー日本代表選手と一緒にスポーツをしよう！
～ストリートラグビーと講演会～

添付書類

- (1) 狛江市行政提案型市民協働事業実施計画書（様式第2号）
- (2) 狛江市行政提案型市民協働事業収支計画書（様式第4号）
- (3) 定款又は会則等
- (4) 前年度事業報告書及び収支決算書（前年度の活動実績がある場合に限る。）
- (5) 役員名簿
- (6) その他市長が必要と認める書類

団体名 狛江市ラグビーフットボール協会

狛江市行政提案型市民協働事業実施計画書

1 提案の目的・必要性

地域社会の発展及び地域社会における課題の解決といった公益性の視点を基に、市との協働事業という趣旨を踏まえて記入してください。

コロナ禍において、多くの方が在宅勤務、休校となり外出の機会が減り、①運動不足（特に若者や障がい者の運動不足は顕著） ②人に会わず親睦が図れない ③刺激や生き甲斐がない ④地域一体となった活動機会がない、⑤ボランティア育成の機会がない、など様々な問題が出てきました。人生100年時代において、健康維持や生き甲斐、親睦の機会が減ることは大きな課題であり解決する必要があります。特に、狛江市のスポーツに関するアンケート調査では、気軽に行えるスポーツの機会や、プロスポーツ選手とのふれあいを望む意見が見られました。そして市内障がい者2,800人に対し、障がい者スポーツの場や観戦の場を求める声は、当協会に多数寄せられています。

今回、市と協働にて、当協会の培った技術や人脈を提供し、微力ながら幅広く市民に貢献出来る企画で解決を図る必要があると考えました。この企画により、えきまえ広場に通りがかった普段運動をすることが少ない方々の運動する機会ができるだけでなく、世代や障がいの有無を超えた地域の人々の交流の場や、ボランティア育成の活動の場を作ることが出来、課題解決に繋がられます。

2 提案の内容

(1) 提案事業の内容

提案の目的を達成するためにどのような事業を計画していますか。具体的に記入してください。

テーマ：市スポーツ推進計画基本目標「する、みる、ささえる」をテーマに、市民スポーツ活動促進を図り、気軽に参加できるスポーツの裾野を広げ、普段より協会とイベントを通じ交流・支援を続けている都立狛江高校学生へボランティア参加・育成を促し機会創出を行います。また、地域と一体となり、健常者と障がい者ラグビー双方の日本代表選手を招き、障がいの有無を超えた万人に向けたスポーツ企画を実施します。

ラグビー日本代表選手と一緒にスポーツをしよう！

～ストリートラグビーと講演会～

【日程（候補）】：10/15、16 【会場】 えきまえ広場

【内容】

1. ストリートラグビー：（人工芝の上の短い距離を走り抜けトライする達成感を味わえるニュースポーツ）
2. 講演会 : ラグビー日本代表選手による野外トークショー
※サントリー日本代表選手 1名
※聴覚障がい者ラグビー連盟日本代表監督、選手 2名
3. 先着 20名ラグビーボールプレゼント

※コロナ対策を万全に行い、実施致します。

※小雨決行、大雨の場合は中止します。

(2) 協働の体制

提案の中で、市と協働実施するに当たり提案団体と市との役割分担、また協働による効果及び必要性について、記入してください。

■提案事業における、提案団体と市の役割分担

〈提案団体が行うこと〉

事業に関わる企画・人選・準備・交渉・当日の会場運営等

〈市が行うこと〉

会場の提供、広報、チラシの配布、イベント出演者費用の負担等

■協働実施による効果・必要性

当協会と提携しているラグビー日本代表プロ選手や全日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟を招致する事が出来ます。また当協会のノウハウを提供・共有する事で、今まで狛江市では取り組むことが無かったより多くの市民が興味関心を惹く、市民目線でのイベントを実施出来ます。

3 提案団体について

協働事業実施に当たっての提案団体の特徴、強み等を記入してください。また、実施することによって、団体にどのような発展が期待できるか併せて記入してください。

■提案団体の特徴、強み等

当協会は、設立から積極的なラグビー普及活動を、狛江市教育委員会、狛江市体育協会、地域団体（狛江高校ラグビー部、慈恵医大ラグビー部、狛江ラグビースクール、賛助会員（地域企業）等）と共に行っています。ラグビーワールドカップ2019では、市と協働し、300名を超えるパブリックビューイングを大成功させ、ボランティア60名とともに、100個の公式ラグビーボールの提供も行い、市民のニュースポーツ、またワールドカップラグビーに対する機運醸成の一助となる事業を開催致しました。また、2018年2月より4年間狛江市タグラグビー大会を開催しており、毎回300名の参加者と60名のスタッフが、多くの市民にラグビーに触れて頂く機会を創出しています。

日本ラグビー協会はじめ、オーストラリア大使館やサントリー等、企業チームとの提携も進めており、幅広く現役で活躍しているプロ選手との交流が可能です。

■将来の展望

ラグビーを通じた市民健康増進と、青少年健全育成、そして、人々が、礼節を基準としたラグビーのノーサイドの精神（試合が終わったら敵味方なく和を以て付き合う）から、平和で豊かな人生を、スポーツと共に歩めるよう、スポーツ推進機会を数多く創出して参りたいと思っております。

4 提案事業の実施スケジュール

想定する提案事業の実施スケジュールを記入してください。

■実施期間

令和 4 年 5 月 1 日 ～ 令和 4 年 10 月 末 日

■スケジュール

時期	内容	時期	内容
4 月		10 月	事業実施月 「ストリートラグビー&講演会」
5 月	事業打ち合わせ	11 月	
6 月	事業打ち合わせ	12 月	
7 月	チラシ他告知媒体作成	1 月	
8 月	募集告知	2 月	
9 月		3 月	

5 自由記述欄

4 までに記載しきれなかったこと、特にアピールしたい点等あれば記入してください。

狛江市ラグビーフットボール協会は、今企画において、狛江市スポーツ推進計画基本目標「する、みる、ささえる」のテーマに合わせた活動を推進します。

『する』・・・幅広い市民層（老若男女）が楽しめるストリートラグビーの体験

『みる』・・・直接プロ選手の講演会を見聞きし、触れ合い、刺激を受ける経験

『ささえる』・・・日頃より協会傘下でサポートしている狛江高校ラグビー部の高校生の社会貢献ボランティア活動を行う機会を創出し、ボランティア育成を実現

以上

狛江市行政提案型市民協働事業収支計画書

事業総額（見込み） 443,000 円

（収入）

区 分	見積額（単位：円）	積算根拠（単価，数量等）
市負担金	436,000	
事業費支出	7,000	
合 計	443,000	

（支出）

区 分	見積額（単位：円）	積算根拠（単価，数量等）
謝礼金	250,000	プロラグビー選手×1名 聴覚障がい者ラグビー連盟 監督・キャプテン・選手3名 外部スタッフ×1名 単価1名50,000円×5名
会場費	160,000	プラフェンスレンタル80,000円前日搬入・当日搬出対応 ライン等設置・撤去40,000円 記念ボール20個×2000円=40000円
消耗品費	3,000	養生・ガムテープ300円×10個
保険料	15,000	参加者150名×100円
印刷製本費	15,000	スタッフ資料印刷7000円 チラシ印刷費2000部8000円
合 計	443,000	

《支出経費の区分例》

○旅費交通費	視察及び講師招聘等に要する公共交通機関を利用する場合の運賃等
○通信運搬費	郵便，電話料，宅配便等に要する経費
○謝礼金	講師等の謝礼金
○会議費・会場費	会議等の会場使用料及び備品借上料
○印刷製本費	チラシ等の印刷費，報告書の印刷及び製本費
○消耗品費	事業を実施する上で必要な機材，材料，消耗品等の経費
○保険料	ボランティア保険料及びイベント保険料
○運営管理費	事業を運営・実施するために必要な管理費

(対象外の経費)

- 団体の事務所等を維持するための経費
- 団体の経常的な活動に要する経費
- 団体の構成員（役員及び会員）の食料費
- 団体の構成員の人件費等
（給与のほか，報酬・報償等。交通費等の費用弁償は除く。）
- 会議の茶菓子代，慰労会費，加入団体への会費等



令和3年 7 月 9 日

狛江市長
松原 俊雄様 宛

団体名 元和泉2・3丁目町会

団体所在地 [Redacted]

代表者名 河西 和

連絡責任者名 河西 和

連絡責任者電話番号・FAX番号 [Redacted]

連絡責任者メールアドレス [Redacted]

狛江市市民提案型市民協働事業提案書

狛江市市民提案型市民協働事業実施要綱第6条の規定により、下記のとおり提案します。

記

事業名 電柱に想定浸水深の位置を表示するプロジェクト

添付書類

- (1) 狛江市市民提案型市民協働事業実施計画書（様式第1号）
- (2) 狛江市市民提案型市民協働事業収支計画書（様式第3号）
- (3) 定款又は会則等
- (4) 前年度事業報告書及び収支決算書（前年度の活動実績がある場合に限る。）
- (5) 役員名簿
- (6) その他市長が必要と認める書類

狛江市市民提案型市民協働事業実施計画書

1 提案事業の目的・必要性

地域社会の発展及び地域社会における課題の解決といった公益性の視点を基に、市との協働事業という趣旨を踏まえて記入してください。

今回のプロジェクト提案の背景には、2019年の台風災害後に当町会で行ったアンケート調査結果の存在があります。

電柱周辺の水位と避難所を示した現在の狛江市の想定浸水深表示板は2019年の台風襲来前に設置されておりました。その為もあると想像されますが、アンケートでは「住んでいる場所の危険度」を知っている世帯が219世帯、知らない世帯が30世帯と、相当数が危険度を認識しておりました。ところが、知っている219世帯の内、実際に避難した世帯は106世帯で半数未満でした。

「ハザードマップ」についてはどうかというと、日頃見ていると答えた世帯は164世帯、見ていない世帯が84世帯でした。しかし、日頃見ている164世帯の内、実際に避難したのは81世帯で、これも半数未満でした。

こうしたデータから推測できることは、水害に対して漠然とした関心や不安を抱いているが、実際の避難行動を起こさない、すなわち、危機的状況を想像しない、できない人がかなり居るのではないかということです。

狛江市の想定浸水深表示板はそれなりの効果があったと考えられますが、住民の想像内容がより具体化され、且つ、非常時の避難行動に結びつくような情報提供が求められます。そこで、実際の水深を可視化することがその一助になると考え、役員会で議論、検討した結果、想定浸水深表示板を設置した電柱の浸水深の高さに目安表示を設置するという内容で提案することとしました。

2 提案の内容

(1) 提案事業の内容

提案の目的を達成するために、どのような事業を計画していますか。具体的に記入してください。

重度の水害で自宅との相対的水位が実際にどのあたりに達するのか、それを「見える化」(可視化)を通じて「実感」していくために、想定浸水深表示板を設置した電柱の想定浸水深の高さに目安表示を設置する事業を提案します。

市内に設置された想定浸水深表示板設置済みの電柱から、市と連携し、町会の長所である地理や居住者の情報から目安表示を設置する必要性が高い電柱を選出します。市が選出した電柱に設置を行い、アンケート等を通じた検証・評価を行います。

また、設置後に防災意識の向上につながるよう防災セミナーを実施し、周囲の危険性の確認や被災後のボランティアセンター設置の周知などを行います。防災セミナーでは狛江消防署などと連携し、子供向けのイベントを取り入れ、若年層の参加と幅広い世代への防災意識の向上を図ります。

(2) 市総合基本計画該当施策

提案事業は、どの施策に位置付けられますか。該当するものを記入してください。

施策 番号	2-①	施策名	防災体制の充実
----------	-----	-----	---------

(3) 協働の体制

提案の中で、市と協働実施するに当たり提案団体と市との役割分担、また協働による効果及び必要性について、記入してください。

協働実施を希望する部署名	安心安全課
--------------	-------

■提案事業における、提案団体と市の役割分担

〈提案団体が行うこと〉

- ・設置可能な電柱や設置を希望する電柱を提示
- ・設置が完了した際には、町内の広報を使って町内にアナウンス
- ・アンケートなどを用いた検証・評価
- ・設置後の防災セミナーの実施

〈市が行うこと〉

- ・設置
- ・市民への広報
- ・アンケートなどを用いた検証・評価
- ・設置後の防災セミナーの実施

■協働実施による効果・必要性

市との協働により、迅速な実施と広範囲での実施が期待できます。

今後、浸水深表示板設置済みの電柱全てで実施する場合、町会からの検証結果を踏まえることでより効果的な方法で設置することができます。また、設置後のセミナーの開催により、町会の防災意識の向上を図ります。

昨今の異常気象の発生頻度に鑑みても防災意識の向上につながる事業として必要性は充分にあると考えます。

3 提案団体について

協働事業実施に当たっての提案団体の特徴、強み等を記入してください。また、実施することによって、団体にどのような発展が期待できるか併せて記入してください。

■提案団体の特徴、強み等

町会なので、町内の地理、居住者の情報に精通していて、どんな場所に目安表示を設置する必要性が高いか提案することが出来ます。日頃から消防署と連携した消防訓練など防災に関する訓練を実施しており、防災に関する意識は高まっています。会員のみならず、町会・自治会連合会を通して市内の町会・自治会全体に検証・評価、イベントへの参加等の協力を依頼することが出来ます。

■将来の展望

狛江市に大きな災害が起こらないことを祈るばかりだが「想定浸水深」を実感して市民の防災意識が更に高まることが期待できると考えます。また、町会内でもより幅広い世代で意識が高まり、浸水対策や避難意識の変化など町会全体の防災力の強化が期待されます。

4 提案事業の実施スケジュール

想定する提案事業の実施スケジュールを記入してください。

■実施期間

令和4年 4月 1日 ～ 令和4年 9月 30日

■スケジュール

時期	内容	時期	内容
4月	協定締結 目安表示を設置する電柱の選出	10月	
5月		11月	
6月	目安表示を設置	12月	
7月	検証・評価	1月	
8月	検証・評価	2月	
9月	防災セミナーの実施 検証・評価のとりまとめ	3月	

5 自由記述欄

4までに記載しきれなかったこと、特にアピールしたい点等あれば記入してください。

--

狛江市市民提案型市民協働事業収支計画書

事業総額（見込み） 102,600 円

（収入）

区 分	見積額（単位：円）	積算根拠（単価，数量等）
市負担金	102,600	
合 計	102,600	

（支出）

区 分	見積額（単位：円）	積算根拠（単価，数量等）
設置委託	68,000	（設置委託2,500円+施工写真300円+現場調査費600円）×20本
謝礼金	24,600	講師謝礼 単価12,300円×2時間
消耗品費	10,000	
合 計	102,600	

《支出経費の区分例》

○旅費交通費	視察及び講師招聘等に要する公共交通機関を利用する場合の運賃等
○通信運搬費	郵便，電話料，宅配便等に要する経費
○謝礼金	講師等の謝礼金
○会議費・会場費	会議等の会場使用料及び備品借上料
○印刷製本費	チラシ等の印刷費，報告書の印刷及び製本費
○消耗品費	事業を実施する上で必要な機材，材料，消耗品等の経費
○保険料	ボランティア保険料及びイベント保険料
○運営管理費	事業を運営・実施するために必要な管理費

(対象外の経費)

- 団体の事務所等を維持するための経費
- 団体の経常的な活動に要する経費
- 団体の構成員（役員及び会員）の食料費
- 団体の構成員の人件費等
 （給与のほか，報酬・報償等。交通費等の費用弁償は除く。）
- 会議の茶菓子代，慰労会費，加入団体への会費等